

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 27 年度 第 10 回（12 月）理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 27 年 12 月 10 日（水）午後 7 時 00 分～8 時 00 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 竹浦、吉本、高田、井戸田、酒井、清水、出野、増田、山西、杉山、山田、久保田、
上田、梶、岡本、安保、柴幹事、荒木監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： 田畑、井口
- ◇ 議 長： 竹浦

【 討議内容 】

I. 行動報告（11 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- 1) 臨時総会議決権行使書の回数手数料を以下の通りとする。
 - ・出席実績 66.7%以上 1 名につき 100 円
 - ・出席実績 50～66.7% 1 名につき 50 円
 - ・出席実績 50%未満 1 名につき 0 円
- 2) 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会（11 月 7・8 日）までの修了者は 16,459 名であった。
- 3) 第 65 回日本医学検査学会の日臨技企画のテーマ
 - ・チーム医療のさらなる推進へ！ 次世代へ向け、今なすべきことは？
 - ・認知症関連検査の課題と可能性
 - ・大規模災害発生時の技師会の動きについて考える
- 4) 第 65 回日本医学検査学会の共同発表者（非会員）の掲載料 50,000 円は徴収免除とする。
- 5) 運天理事任期満了に伴い、岡田理事を結核研究奨励賞選考委員に推進する。
- 6) 日本栄養療法推進協議会の役員に宮島会長、評議員に横地専務理事、岡田理事を再任する。
- 7) 第 65 回日本医学検査学会の参加費は事前登録 10,000 円、当日 12,000 円とする。
国際学会参加（3 万円）者は、第 65 回日本医学検査学会および日本臨床検査医学会の参加費を無料とする。
- 8) 第 67 回日本医学検査学会の開催担当を、静岡県臨床検査技師会とする。
- 9) 日臨技支部学会に臨床検査技師養成施設の学生が参加できる企画を設ける。
- 10) 臨床検査技師養成施設の卒業時に、日臨技表彰を行う。
- 11) マイナンバー制度対応措置として、規程・関連書式を整備する。
講師料が年間 5 万円以上になる場合、講師のマイナンバー届が必要。

2. 事務局

〈総務部〉11 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・平成 28 年度入会案内・年会費納入案内・臨床検査技師賠償責任保険への加入方法について検討した。
- ・平成 27 年度大臨技会長賞の案内について検討した。
- ・大臨技登録学生について検討した。
- ・新大臨技ホームページの稼働開始について協議した。
- ・レンタルサーバーの運用管理について検討した。
- ・大臨技ニュースの発行部数について検討した。
- ・大臨技ニュース 11 月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを随時更新した。

〈会計部〉11 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・10 月度収支計算書を作成した。
- ・11 月分事務員給与を送金した。

〈渉外部〉11 月 17 日（火）に部会を開催した。

- ・府民健康フォーラムの開催報告を行った。
- ・大臨技・大放技合同フォーラム委員会の進捗状況について説明を行った。
- ・HIV 予防啓発講演会について討議した。
- ・献血推進活動について討議した。
- ・がん予防フォーラムについて討議した。

3. 事業局

〈情報組織部〉11 月 26 日（木）に部会を開催した。

- ・技師長会（平成 28 年 2 月 27 日（土）開催予定）の内容について討議した。
- ・新入会員研修会（平成 28 年 5 月開催予定）の内容について討議した。

〈地区事業部〉11 月 19 日（木）に部会を開催した。

- ・施設連絡者会の内容について検討した。

日時：平成 28 年 3 月 5 日（土）14：30～16：30

場所：あべのハルカス 25 階会議室 F

内容：①保険点数改訂について ②検査相談について

- ・マタニティカーニバル 2016 の開催を平成 28 年 6 月 5 日～6 日に予定している。

〈学部部〉11 月 24 日に部会を開催した。

- ・理事会（11/12）報告及び平成 27 年度（55 回）日臨技近畿支部医学検査学会報告を行った。
- ・平成 27 年度学術講演会（平成 28 年度 3 月 12 日（土）開催予定）の内容について討議した。

Ⅲ. 報告事項

1. 新大臨技ホームページの進捗状況について（山田理事）

- ・11 月 26 日（月）から新大臨技ホームページの運用を開始した。

2. レンタルサーバーの運用管理について（酒井常務理事）

- ・レンタルサーバーにおける各メーリングリストの移行状況等について説明があった。

3. 第 55 回近畿支部学会収支について（杉山理事）

- ・決算書について説明があった。

- ・収支差額が 1,330,578 円の黒字となり日臨技へ送金することとした。
4. 第 31 回緒方富雄賞受賞記念祝賀会について（酒井常務理事）
 - ・井戸田常務理事が第 31 回緒方富雄賞を受賞されたことに伴い、受賞記念祝賀会を 12 月 26 日(土)に開催することとなった。
 - ・祝賀会の進行予定等について説明があった。
 5. 平成 28 年度入会案内・年会費納入案内について（吉本副会長）
 - ・平成 28 年度新入会の入会案内、大臨技のみの会員への会費納入案内・納入方法等の案内を大臨技ニュース 12 月号と共に発送した。
 6. 平成 28 年度大臨技臨床検査技師賠償責任保険について（吉本副会長）
 - ・大臨技のみの会員を対象とした賠償責任保険への加入案内を大臨技ニュース 12 月号と共に発送した。
 7. 教育施設対応（入会案内・平成 27 年度大臨技会長賞・大臨技登録学生）について（吉本副会長）
 - ・各教育施設へ、「平成 28 年度入会案内」及び「平成 27 年度大臨技会長賞」候補者推薦についての依頼書を 12 月 1 日付けで発送した。
 - ・平成 28 年度大臨技登録学生の募集案内は 1 月に発送を予定している。
 8. 来年度予算案の審議について（竹浦会長）
 - ・来年度予算案を 1 月の理事会前に常務理事会メンバーで審議し、1 月 27 日開催の常務理事会で各部責任者よりヒアリングを行い、2 月の理事会で最終案を提出し決定することとする。
 - ・大臨技ニュース 4 月号に平成 28 年度予算案を掲載し、5 月号に平成 27 年度決算書を掲載する。
 9. その他
 - 1) 大阪学会について（竹浦会長）
 - ・平成 29 年 2 月に開催を予定している。
 - ・20～30 代の若い技師が活躍する学会にしたい。参加者人数は 1,000 人目標、予算は 300 万円を予定している。
 - 2) 各部の世話人について（竹浦会長）
 - ・各部世話人メンバーが固定化してきているため世代交代し若者を中心とした体制にして行きたい。
 - 3) がん予防フォーラムについて（岡本理事）
 - ・平成 27 年 3 月 20 日（日）に平成 27 年度がん予防フォーラムを開催する。
 - ・特別講演を讀賣テレビアナウンサーの清水 健氏に依頼している。他の 3 講演は、教育講演として学術的講演を予定している。
 - 4) 在宅医療ネットワーク講演会について（竹浦会長）
 - ・大阪府医師会より在宅医療ネットワーク講演会（12 月 19 日(土)開催）への参加依頼及びチラシ配布依頼があったため対応した。

IV. 議 題

1. マイナンバーの取扱方針について（柴監事）

来年からマイナンバー制度が導入されることに伴い、講師を依頼する際の講師の個人番号確認及び本人確認方法、取扱い等について討議した。

- ・講師依頼状に、個人番号（マイナンバー）提供依頼状と説明文書を添付する。

- ・講師依頼状に、講師料の有無・金額を明記する。
- ・「特定個人情報等の取扱状況・運用状況のチェックリスト」を作成し、担当者が記入し、事務所で保管する。
- ・個人番号（マイナンバー）の提供方法
 - ①原則は、講演当日に「通知カード」及び「本人確認書類」のコピー、もしくは「個人番号カード」のコピーを持参してもらい個人番号確認及び本人確認を行う。
 - ②講演当日に実施できなかった場合は、郵送またはメールによる方法で送ってもらう。
 - メールで送ってもらった場合は、必ずパスワードを設定し、受け取り後、電子データを削除し、印字したものを事務所の鍵付キャビネットにて保管する。
- 2. 大阪市及び大阪府衛生検査所精度管理専門委員について（竹浦会長）
 - ・大阪市のメンバーは変更なし。
 - ・大阪府は3名について交代することとする。
- 3. 平成28年秋の叙勲・褒章候補者（衛生分野）の推薦について（吉本副会長）
 - ・今回は該当者なしとする。
- 4. 衛生検査所・調査指導員の選出について（清水理事）
 - ・日臨時より選出依頼のあった標記指導員として、大阪府より荒木監事及び田畑常務理事を推薦することとした。
- 5. その他（清水理事）
 - 1) 1月22日（金）に全国幹事連絡会議が開催されるので、日臨技への要望事項があれば12月18日（金）までに清水理事へ提出することとした。
 - 2) 2月27日（土）に開催される支部幹事会で次期の日臨技理事の推薦者を決めるので、近畿からの推薦者を検討する。
 - 3) 検体採取研修会について、会場は現行通り大阪であるが、運営を近畿各府県技師会が持ち回りで担当することとなった。

以上